

ソフト事業のみ
 ハード事業を含む

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和5年度

市町村名	蕨市					
提案事業名	「さよなら私のクラマー」と「女子サッカー」応援による地域振興事業					
事業期間	令和4年度 ～ 令和4年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていると思う市民の割合					
	(成果検証の具体的な方法) 毎年実施している市民意識調査で把握					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (R3年12月時点)	69.50%	目標値 (R5年12月時点)	71%	実績値 (R5年12月時点)	74.70%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項						

【事業効果の整理・原因分析】

令和4年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① アニメツーリズムによる町おこし	○	アニメツーリズムの推進により、市内外から観光客を呼び込むとともに、市内事業者等のコラボグッズの開発支援などを通じて、にぎわい創出やまちの活性化に繋げることができた。
② スポーツ振興を通じた地域振興	○	女子児童等を対象としたサッカー教室の開催を通じて、女子サッカーの裾野を広げるとともに、WEリーグとの連携促進により、市の知名度の向上などイメージアップを図ることができた。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	「女子サッカーを応援するまち・蕨」として、年間を通じて事業展開を行った結果、(株)エルフェンススポーツクラブ（WEリーグ・ちふれASエルフェン埼玉を運営）とのサポータータウン協定の締結（R5.8）をはじめ、2年連続となる「訪れてみたい日本のアニメ聖地88（2023年版）」への認定など、一層の地域・スポーツ振興を図るとともに、新たな事業展開に繋げることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	—
成果検証を踏まえた 今後の改善策	—

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない